

# 03

川西市地域分権推進事業 ニュースレター

## 第3回地域夢・未来カフェ in 北陵

地域分権制度の検討の一環として、地域課題の解決に向けた具体的な活動案を考えながら、地域分権制度についての意見をいただくため、「第3回地域夢・未来カフェ in 北陵」が開催されました。

日時：2013年2月23日（土）19:30～21:30

場所：北陵公民館

参加人数：市民18名+市WGメンバー3名

### 当日のスケジュール

- 19:30 開会
- 19:35 当日スケジュール説明・ふりかえり
- 19:40 イントロダクション
- 19:50 テーブルワーク（活動案のとりまとめ）
- 21:05 グループ発表
- 21:25 今後の流れの説明
- 21:30 閉会

### 当日スケジュール説明～イントロダクション

開会のあいさつの後、前回のふりかえりと当日のスケジュールの説明がありました。その後、アイスブレイク「喪失体験」を行いました。フセンに「友人」「健康」「趣味」「お金」「役割」「仕事」という6つのキーワードを書き、ジャンケンに負けると1枚ずつ破っていくゲームです。残った付箋は人によりさまざま、参加者の中でも価値観が異なっていることを体感しました。また、6つのキーワードは、年をとるごとに失っていくものですが、地域活動等をすることで新しく得ることもできるという話もありました。



### テーブルワーク～グループ発表

#### 各グループのテーマ

- Aグループ：地域活動が活発なまちにする
- Bグループ：誰もが交流できるまちにする
- Cグループ：子育てしやすいまちにする
- Dグループ：安心・安全で快適なまちにする

テーブルワークでは、第2回に引き続いて活発な議論が行われ、最終的な活動案がとりまとめられました。できあがった活動案については、各グループから全体に向け発表しました。

Aグループでは、自治会加入率アップなどについて、Bグループでは北陵スマイルカフェなどについて、Cグループでは、親のネットワークづくりなどについて、そしてDグループでは、まちの“部活”による、他世代の地域への入り口づくりなどについての話し合いが行われ、発表されました。



## Aグループ 地域活動が活発なまちにする

### ○地域活動の現状

- ・自治会の中に福祉部会がある
- ・自治会に準会員のしくみがある
- ・コミュニティと地区福祉委員会の関わりが薄い

### ○自治会加入率のアップ

- ・自治会加入率はバロメーターのひとつである
- ・年齢がくるとスマイルが使えるようになるようなしくみ
- ・夏祭りで換金できる。しかし、知らない人が多い
- ・スマイル会員は1時間1枚から
- ・自治会員が使えるようなしくみがいいのではないか

### ○北陵らしいイベントについて

- ・地域資源がある
- ・深山池公園を活用する
- ・野外ステージを活用する
- ・歴史民俗資料館がある
- ・地域が資料館や公園を指定管理する

### ○美山（みやま）池遊園プロジェクト

- ・コミュニティカフェをつくる
  - ・バーベキューがしたい
  - ・クッキングセンターがほしい
- ⇒そのためには火が使える許可がほしい
- ・自治会員は遊園で優待が受けられる
  - ・駐車場が少ない

## Bグループ 誰もが交流できるまちにする

### 北陵スマイルカフェ

#### ○活動メニュー

- ・交流できる場所を設ける
- ・気軽に集まれる、情報が集まる、食事をする
- ・スマイルカードを使う

#### ○取組内容・アイデア

- ・月に1度、声かけをしてママ友などが集まる（公園）
- ・既に施設を利用している団体に利用してもらう（公民館、集会所）
- ・活動が広がれば、空き家でもカフェをする

#### ○スケジュール

- ・春-桜の時期から公園で朝食とゴザを持ち寄る
- ・夏-夏になれば野菜ができる
- ・秋-紅葉がきれいなので、紅葉狩りをする
- ・冬-焼きイモカフェやもちつき

#### ○活動主体

- ・初めは興味がある人たちで行う
- ・活動が広がるにつれて実行委員会方式で行う

#### ○行政がすべき取組・支援

- ・足が不自由な方などへの交通の支援
- ⇒住民同士でできるのが理想
- ・焼きイモをするときの火の使用許可
  - ・規則や条例をそのときだけ解除してほしい

#### ○その他

- Q.団体が連携して一緒に活動するためには？
- A.公民館との連携が大切である
- Q.地域担当職員に求められるものは？
- A.お金の管理ができる人  
誰とでも前向きに話せる人  
地域のことや地域の課題を知っている人

## Cグループ 子育てしやすいまちにする

### ○現状

- ・サービスが整っていても利用者が来ない
- ・そもそも北陵は恵まれている
- ・マンションで遊んでいる子が多い
- ・遊び場が少ない

### ○課題

#### 【家庭内】

- ・他の子や他の家族への関わりが少ない
- ・家族が忙しい
- ・関わりを嫌がる人が多い
- ・異年齢同士の子どもは遊ばない傾向がある

#### 【公園】

- ・安心して遊べない
- ・年齢別の交流の場となっている
- ・大きい公園でいろんな学年が混ざって遊べるといい

### ○目指す方向性

#### 【拠点】

- ・子ども会は集会所を借りて子どもに開放する
- ・地域内の時間のある方に見守ってもらいたい
- ・毎日開放されていればいい

#### 【場】

- ・地域行事が貼ってある
- ・子どもスペースが必要である
- ・本と接することができる
- ・自習室
- ・コミュニティカフェ、いこいこ北陵
- ・子どもや親の異年齢交流ができる

#### 【情報網】

- ・FM局が学校の放送部と連携する
- ・HPや掲示板などを利用する

## Dグループ 安心・安全で快適なまちにする

### まちの「部活」による多世代の地域への入口づくり

#### ○子ども会

- ・頑張っている
- ・スタンプラリーは見守りになる

#### ○小・中学生（重点ターゲット）

- ・地域インターンシップ（単位制度）
- ・スマイルカードを使う

#### ○高校生・大学生

- ・地域インターンシップ（単位制度）
- ・大学研究室と連携（単位制度）
- ・学校の単位として認めてもらうためには、市のサポートが必要である

#### ○20～30代

- ・この世代の人口が少ない

#### ○40～50代（重点ターゲット）

##### 【部活のテーマを考える】

- ・スポーツ（チーム作りとして有効である）
- ・里山系・地域文化
- ・防災（防災訓練、炊き出しをゲーム感覚で）
- ・キャリア講座
- ・経済部

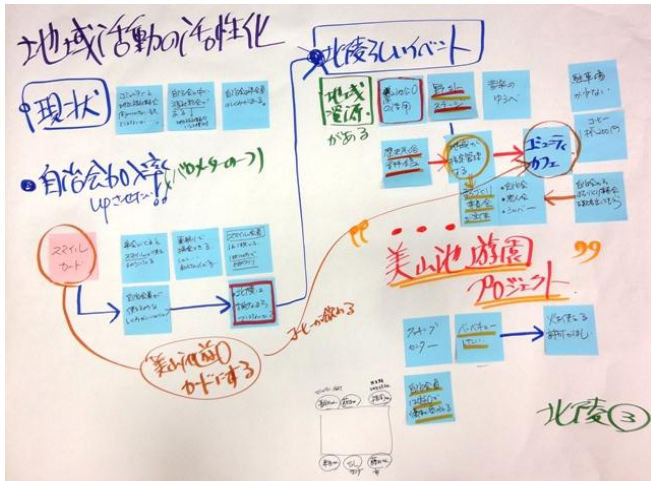
#### ○リタイア世代

- ・地域に出る人、出ない人がはっきりしている

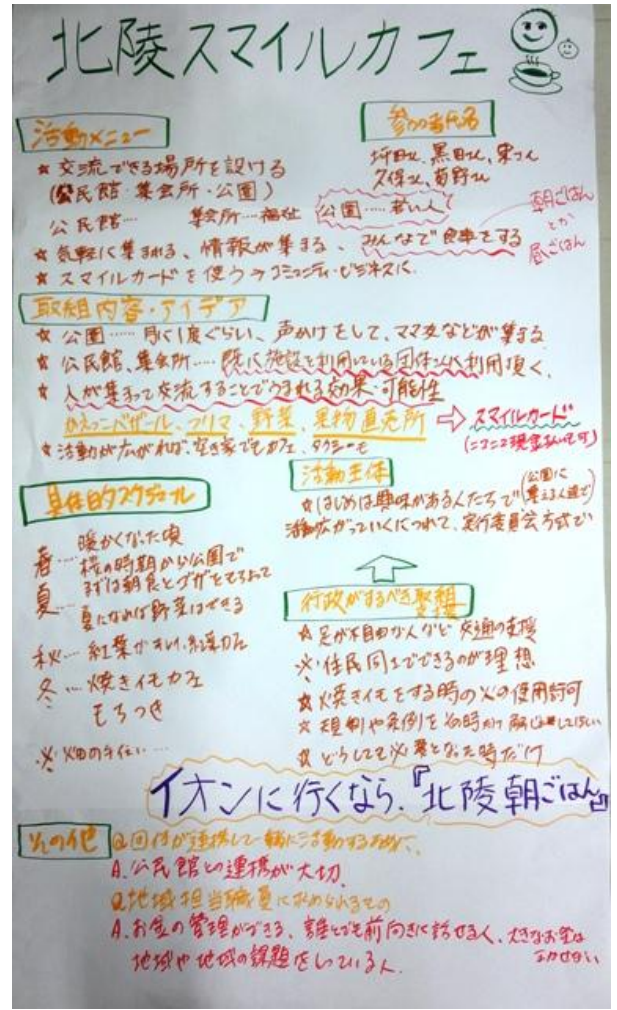
#### ○老人会

- ・頑張っている

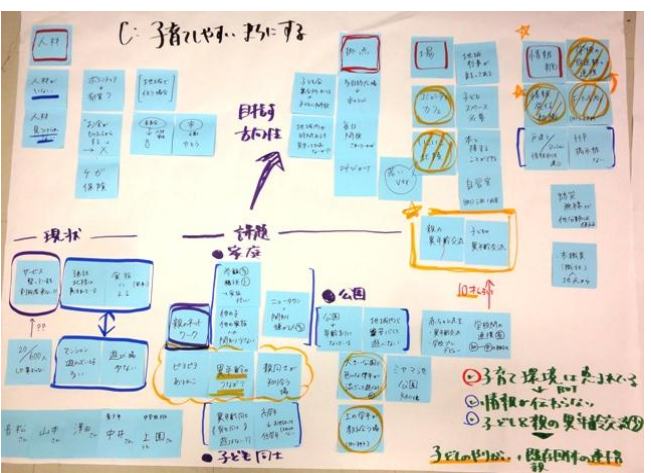
## Aグループ 地域活動が活発なまち



## Bグループ 誰もが交流できるまち



## Cグループ 子育てしやすいまち



各グループの模造紙、プレゼン画像